

# 2025年度 自己点検評価 織田製菓専門学校

作成日2026年4月1日

学校の理念と教育目標

【理念】 現代社会及び産業界において必要とされる人材の育成。

【目標】 製菓に関する技術と知識の習得及び社会人としての常識を兼ね備えた人材を育てる。

3段階評価 3…基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている 2…基準をおおむね満たす 1…基準を満たしておらず改善が必要

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目1 教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3
		各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられていること。	2
		教育理念やポリシーが学内外に広く公表されていること。	2

【評価結果の自己分析】

製造販売実習では大量にケーキ・焼き菓子を製造することで、パティスリーの現場に近い方法を学んでいる。また、それを販売することで責任を持って商品を作る、あるいは販売できる商品とは何かなど、身を持って経験をする。さらに、その経験を年に1、2度ではなく定期的に回数を重ねることで技術知識の向上に役立っている。現場からは好意的な意見をいただいている。選択授業では自らの将来に合わせた科目を選ぶことで技術を高め就職先を考える1つの手立てにしている。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

製菓製パン業界としては即戦力がほしいという声はよく聞く。したがって、毎日の実習、定期的な製造販売実習で技術・知識を高める方向性は良いと思うが、学ぶ学生たちにもう少しそれらを認識させる必要がある。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目2 教育課程、教育の 実施、学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	2
	2 教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	2
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	2
	4 学修成果目標の達成 状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2
		学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3

【評価結果の自己分析】

小項目1～4については学則で定められており、そのルールに則って進めている。  
また、就職を希望する学生については10月の段階で内定率100%になっていた。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

「どのような授業が学生たちの興味を引くのか」それは大切なポイントである。しかし、現場のニーズとあまりかけ離れてはいけな  
いし、ある程度の仕事の厳しさも教えることも必要だと考える。従って双方にとって有益な点を探し出してゆくことをこれからも課題と  
してゆきたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目3 学生の受入れ、学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容 定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	2
		学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 注)修学支援新制度機関要件の確認	2
	2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2
	3 学生生活に関する支援	カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2
		留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	2
		学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2
		学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2
		学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2

【評価結果の自己分析】

小項目1～3、どれも適切な時期にプリント配布や掲示などによって情報を公開し対応している。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

全体的に興味のないことは見ない、読まない、理解しない学生が増えていて、期限ぎりぎりようやく相談にくる場合がある。1歩先に出たの声かけは行ってはいるが、情報公開したものを早く見てもらうアイデアを見つけてゆきたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	2
		教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2
	2 教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2
		教員間で連携、協力体制を構築していること。	2
	3 教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2

【評価結果の自己分析】

小項目1～3は適正に行われていた。特に教員間での学生の情報共有は行われ、指導するうえで参考になった。また、教員が技術向上のためコンクールへの参加を希望した時は放課後の教室使用や作品の搬送など様々に支援した。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

教員間でコミュニケーションをとり情報を共有することやコンクール等の参加とそれに付随する支援などは、引き続き進めていきたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目5 教育環境	1 教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2
		インターネット接続環境を整え、学生が必要に応じて情報検索等が出来ること。	2
	2 安全対策、防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2
		火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2
	3 施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2
		施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2

【評価結果の自己分析】

道具の点検、修理は適宜行い、壊れた場合などは新しいものを購入し授業に支障がないようにしている。その他、エレベータ点検、消防点検、避難訓練なども実施しており安心・安全な環境作りをしている。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

早急に考えるものとしては「デジタル化」があげられる。PC・タブレットを学生1人1人が持ち、授業だけでなく、学校の連絡、書類の申請もそれで完結する。利便性を考えても、現在の教育現場を考えた時も急務であろう。ただ、本校は専門の技術を学ぶところであり、現場ではPCの必要性がそれ程あるわけではないので、どこまでが有効かを検討していきたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
<b>項目6</b> 教育活動の基盤と 改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務 基盤	学校が策定している事業計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2
		学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。	2
	3 学校評価の実施と改 善活動	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	2
		学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	2
		学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2
	4 社会からの理解と情 報の公表	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2

【評価結果の自己分析】

小項目1～4は適正に行われていた。特に小項目4はSNSを中心に教育活動などを公表しているし、地域との連携強化も積極的に行った結果、教育活動をしっかり行っていると広く認められるようになっている。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

これからも適切な情報公開、地域連携などを行い学校の信頼を無くさないように努めていきたい。さらに入学者を増やしていき、安定した経営状況にしていくことを教員の目標にしていく。